

「親子で考えるいじめ防止の標語」の取組実施状況集計結果

1. 「親子で考えるいじめ防止の標語」の取組について

	実施した	実施せず
(1) 校内における募集の呼びかけ	11	0
(2) 校内における受賞作品一覧の掲示	8	3
(3) 校内における表彰状授与（1校は非該当）	10	0

2. 上記以外の取組について

	実施した	実施せず
(1) 上記以外の校内独自の取組	7	4
(2) 実施した内容（複数可）		
応募用紙配布の際、児童生徒に取組の趣旨を説明した		3
校内新聞などで、標語の募集について周知した		2
応募に際し、校内で応募数の目標を設定した		0
校内新聞などで、受賞者（受賞作品）の紹介をした		3
受賞作品一覧だけでなく、応募作品の全てを校内に掲示した		1
その他 ・学校HPブログでも紹介した ・PTAも標語の取組について、運営委員会等で保護者に勧めてくださった ・学校だよりで保護者に呼びかけた ・育友会幹事会や生徒会執行部に呼びかけた		4

3. 校内（職員、児童生徒）或いは保護者の反響について

	よい反響	よくない反響	特になし
(1) 反響の有無について	6	0	5
(2) 具体的にどのような反響があったか			
・参観日、研究発表会等、提出があったものを玄関に掲示したので、立ち止まって見ている方がいた			
・「いじめについて親子で話し合う機会になったので、良かった」という声を聞いた			
・いじめ防止について学校だけでなく家庭でも親子で考える機会となった			
・校内で募集を呼び掛けるなどの取組を実施したので、応募数が増えた			
・育友会や生徒会に依頼したところ、快く引き受けてくれた			
・市長賞1名、入賞3名、全校集会で、校長が表彰状授与した。いつもより大きな「おめでとう」の拍手だった。各クラスでも喜びをともにしていた。			
・中学生が親と話し合うなどあまりしなないと思ったが、案外している生徒がいるという、少しだけ驚きの声があった			

4. いじめ防止啓発事業にかかる提案等について

・長く続けられる取組があればよい。啓発活動ということなので今回のやり方しかないのでしょうか。
・人に対するからかいふざけてした行動が「いじめ」につながることを親も子も認識し合えるようにロールプレイングをして学べる機会を持てると良いと思います。
・同じような内容の募集が同時期にあったので、時期をずらす、1つにまとめるなど市内で整理していただくと助かります。
・学校としては特に力を入れて取り組んだとはいえませんが、保護者の関心の高さを改めて知ることになりました。来年度は、いじめアンケートを実施する時とかいじめについて指導するのに合わせて募集すれば、児童の意識が高まるものと思います。
・ていねいな取組ありがとうございました。来年度もよろしくお願いします。
・親子と限定せず、生徒だけでも応募できるようにする（学校で取り組める）、「親子」または「祖父母と子ども」で応募する（PTA協議会等に依頼し各家庭で取り組み、学校を經由せずメールで応募する）という二段構えの方法だと大人も中学生も取組に参加でき、啓発に役立つのではないのでしょうか。